

Investor Day資料

# 原子力事業

**IHI**

2026年6月2日

株式会社 **IHI**

常務執行役員 資源・エネルギー・環境事業領域長  
小澤 典明

## ● 構造改革の進捗（エネルギー海外子会社）

- ✓ 海外子会社事業の構造改革を実行中
- ✓ 残るノンコア事業への対応を断行し、コア事業への集中を図る

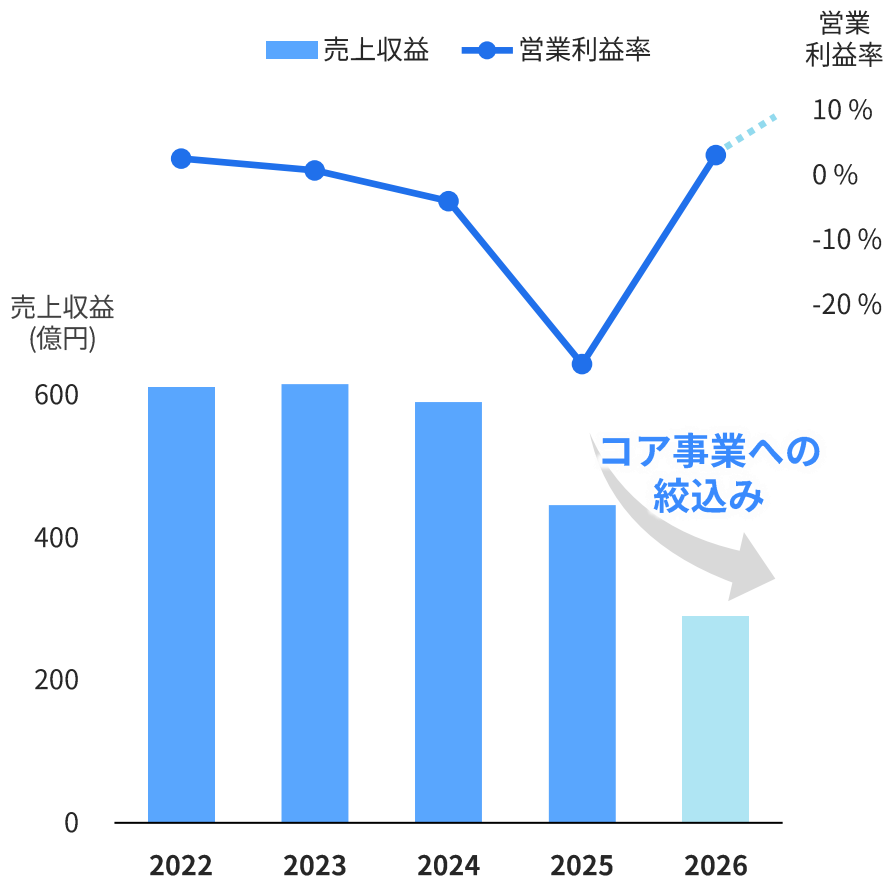
## ● 原子力事業

- ✓ 国内再稼働・再処理の着実な取り組みを通じ、原子力の最大限活用に貢献
- ✓ 海外新設需要を最大限取り込むことで、トップライン拡大を実現

前年度から継続し、残るエネルギー海外子会社事業の構造改革を2026年度中に断行

## 海外子会社事業 売上収益・営業利益率

構造改革に伴う案件絞り込みで  
26年度以降は安定基調へ



## 構造改革の進捗

コア事業へのリソース集中に向けた、  
ノンコア事業の徹底した構造改革

- ✓ 北米 エネルギーO&M事業の譲渡
- ✓ 北米 エネルギーマネジメント事業の規模最適化
- ✓ 東南アジア バイオマス燃料事業からの撤退

## 残るノンコア事業への対応

欧州 エンジニアリング事業  
Steinmüller Engineering GmbH

- ✓ 受注済案件のプロジェクトコストを精査、損益の見通しを確定済み
- ✓ 併せて、事業再編を含むあらゆる選択肢を検討

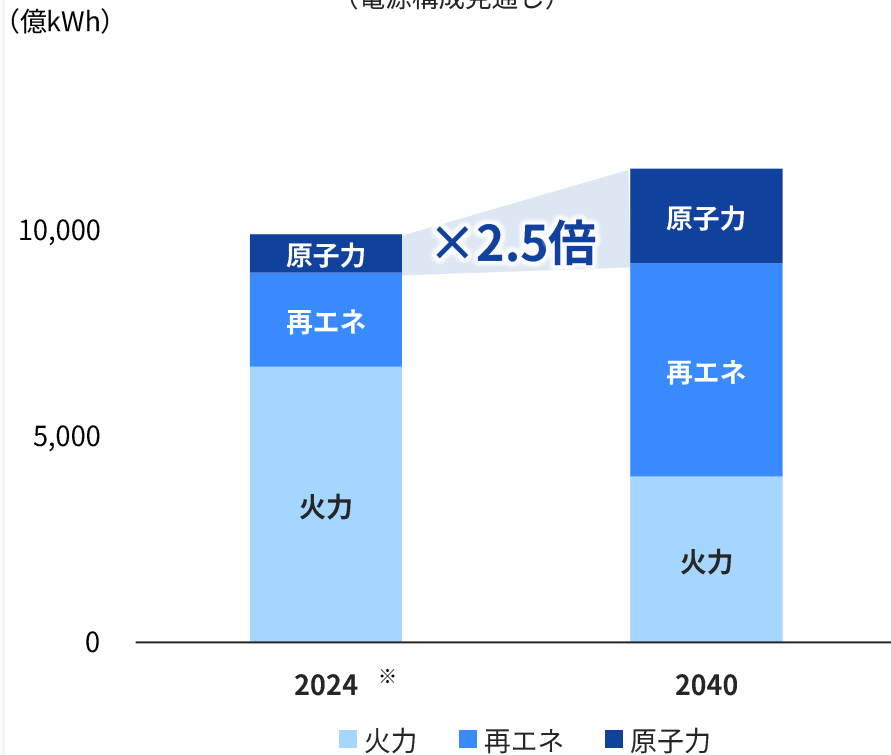
# 原子力事業

エネルギー安全保障と脱炭素を背景に、国内原子力で安定的に事業を拡大

市場環境（国内）

2040年の原子力電力供給量は  
国内で2.5倍

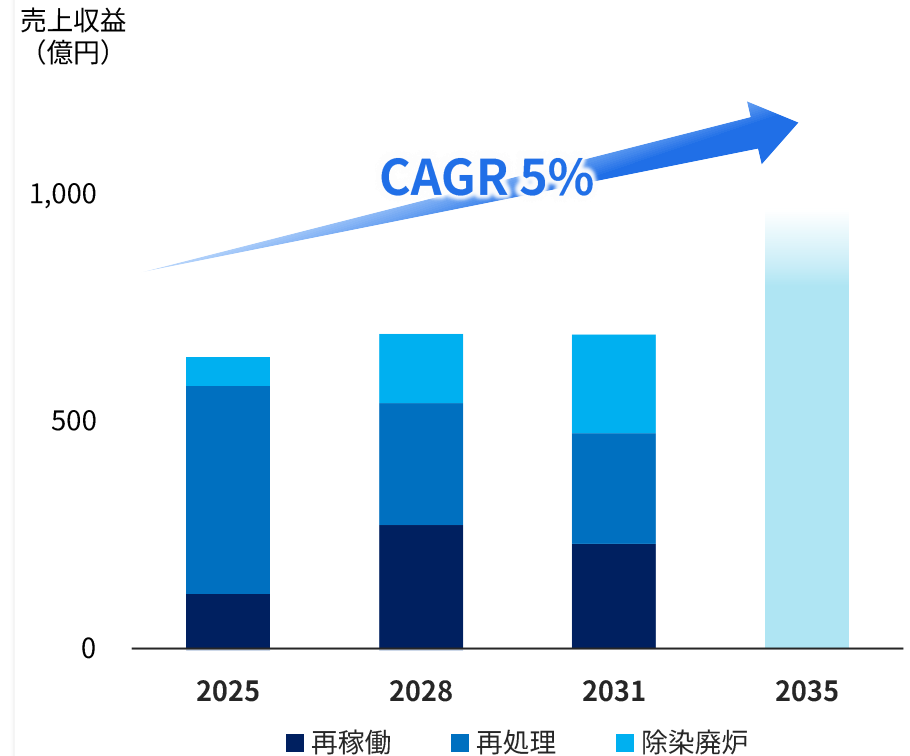
【国内】第7次エネルギー基本計画  
(電源構成見通し)



当社事業成長

再稼働・再処理の国内LCB需要を  
確実に取込み、安定的に事業を拡大

原子力事業（国内）の売上収益



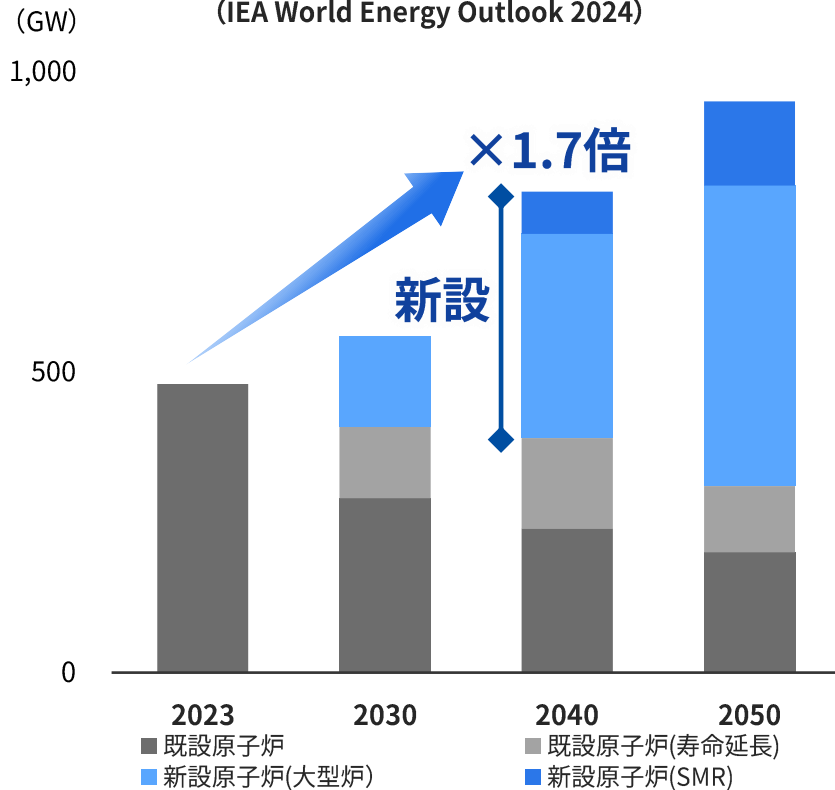
世界的な電力需要増加を追い風に、海外原子力で事業成長を加速

市場環境（海外）

2040年の原子力電力供給量は  
世界で1.7倍・400GW超の新設必要

世界の原子力設備容量見通し

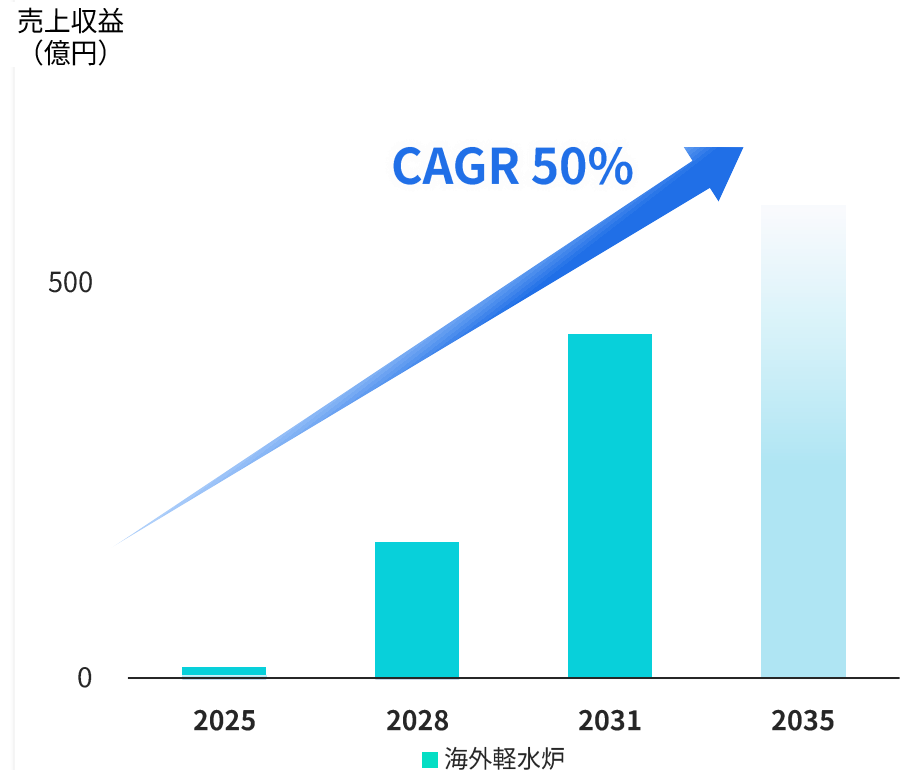
(IEA World Energy Outlook 2024)



当社事業成長

グローバルでの新設需要を追い風に  
海外新設でトップライン成長

原子力事業（海外）の売上収益



優位性

01

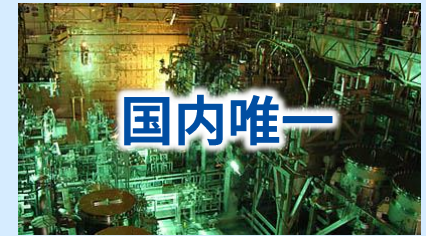
国内BWRプラントで50年間培ってきた、  
設計・製造・保守にわたる実績と技術の蓄積

配管・容器エンジニアリング力  
高い品質保証マネジメント

優位性

02

燃料再処理プロセスで不可欠となる  
国内唯一のガラス固化技術を保有



出典：日本原燃殿ホームページ

優位性

03

重要機器（圧力容器、格納容器）において  
世界トップクラスの製造技術・能力を保有



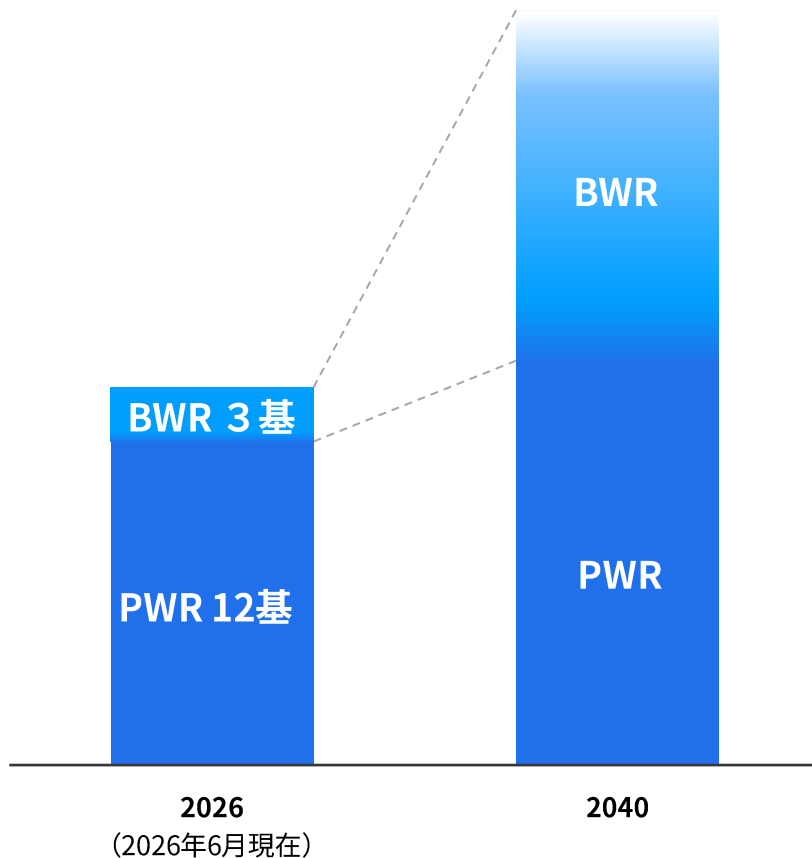
収益拡大  
に向けて

製造能力強化に向けた投資・生産性拡大で、新設需要を最大限取り込み

今後進展するBWR再稼働対応で実績と保有技術を活かし、原子力の最大限活用に貢献

### 国内の再稼働見通し

今後は当社に優位性のある  
BWRの再稼働フェーズ



売上拡大

収益性向上

### BWR再稼働対応へ向けて

- ✓ 設計から製造・保守にいたる一貫対応
- ✓ 主要配管／容器の高いエンジニアリング力
- ✓ 高度な品質保証マネジメント

売上拡大

### 対応範囲の拡大

- ✓ 電力・メーカーとの幅広い協力による  
対応機会の拡大

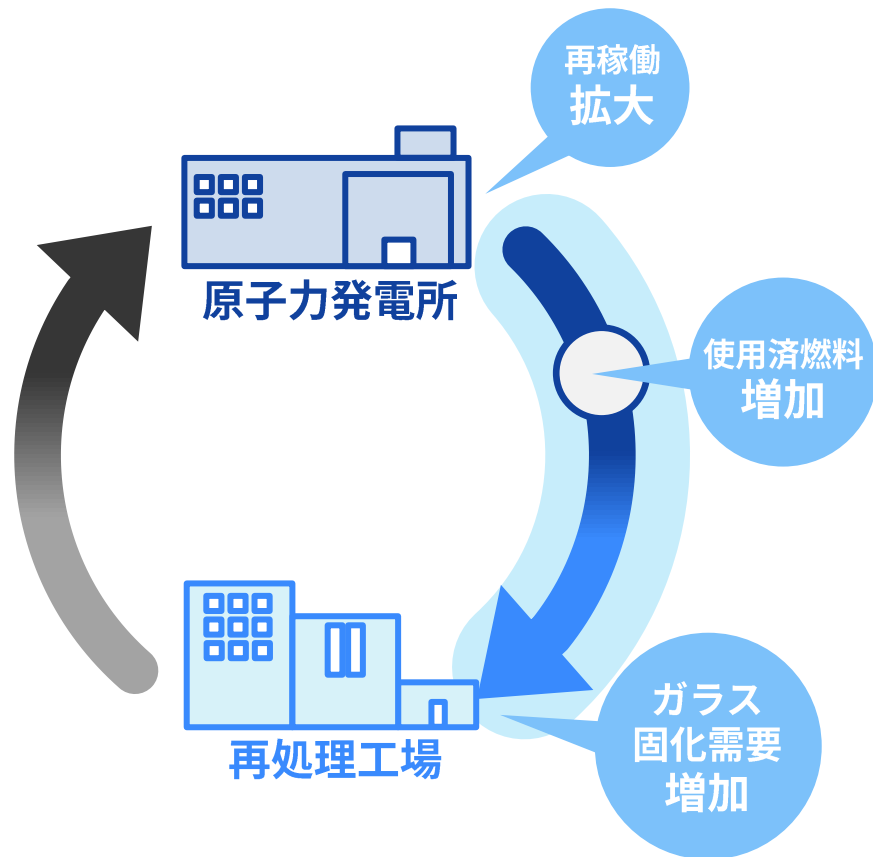


限られたケーパビリティを相互に補完し、  
再稼働を強力に推進

## 国内唯一のガラス固化技術で原燃サイクル確立に貢献、更なるバックエンド拡大へ

### 今後の市場見通し

原子炉再稼働の進展に伴って、  
安定した燃料再処理の確立が求められる



### 再処理事業ロードマップ

再処理工場  
安全対策工事

再処理工場竣工に  
向け最優先対応中

ガラス固化設備LCB

ガラス固化技術をコアとした長期メンテナンス  
+  
設備更新・高度化

廃棄物処理・貯蔵の拡大

廃棄物処理～貯蔵プロセスの確立による  
バックエンド分野での一貫した対応

2025 ————— 2028 ————— 2031 ————— 2035



出典：日本原燃殿ホームページ

ガラス固化設備



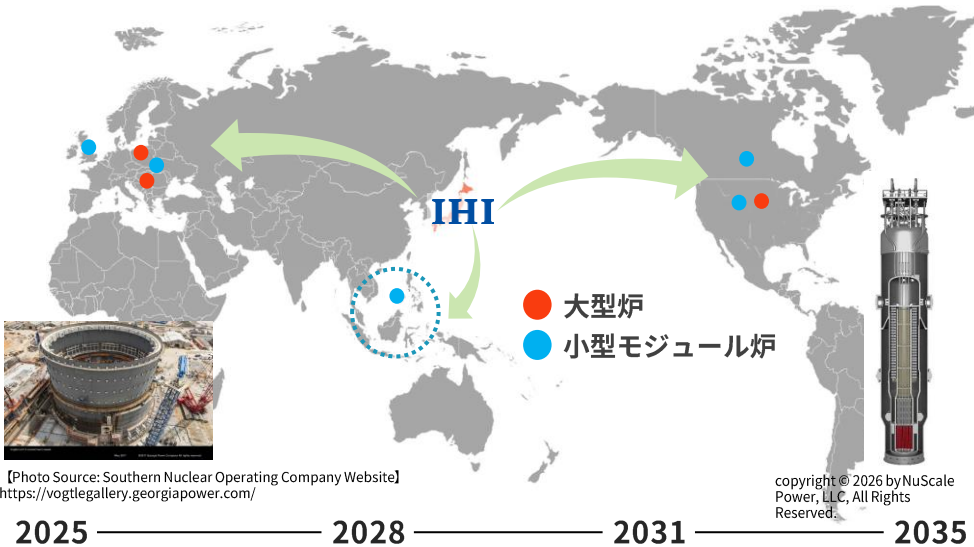
出典：日本原燃殿ホームページ

ガラス固化体貯蔵設備

世界トップクラスの製造技術で、グローバルな原子力新設需要を最大限取り込み

## 機器供給のグローバル展開

溶接をコアとした高度な製造技術で  
主要機器サプライヤーとしての全方位展開



売上拡大 収益性向上

## 需要取り込みに向けた生産拡大

- ✓ 以下の施策で生産能力を **2倍以上**に拡大
  - ・ 横浜工場の生産エリア拡大
  - ・ 相生工場の生産拠点化
  - ・ 自動化/省人化/AIによるスループット向上

売上拡大

## 機器供給の全方位展開

- ✓ 複数のSMRデベロッパとの協力関係構築
- ✓ 幅広い炉型への対応力強化

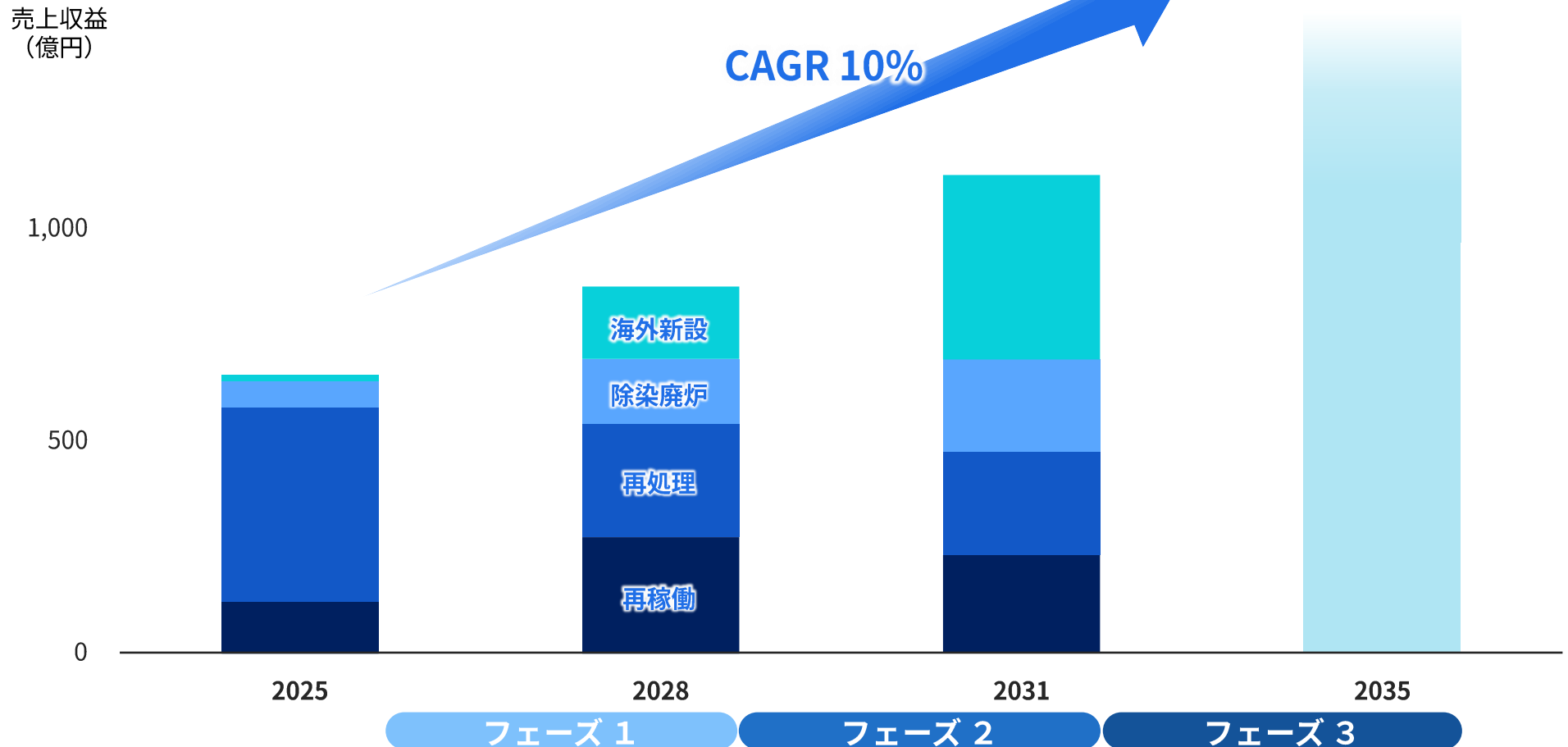
➤ 原子力機器供給で世界市場をリード

## 短中期（フェーズ1・2）

国内の再稼働・再処理事業で  
原子力サイクル確立に貢献

## 中長期（フェーズ2・3）

海外向け機器の生産能力を2倍超に増強  
トップライン成長による利益拡大を加速



# IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。